



2020年4月20日

各位

会社名 株式会社 静岡銀行
代表者名 取締役頭取 柴田 久
(コード番号 8355 東証第1部)
問合せ先
経営企画部長 澤井 康人
(TEL 054-345-9161)

第14次中期経営計画策定のお知らせ

静岡銀行(頭取 柴田久)では、2020年度から2022年度までの3年間を計画期間とする第14次中期経営計画「COLORs～多彩～」を策定しましたので、概要をお知らせいたします。

1. 名称

第14次中期経営計画「COLORs～多彩～」

2. 計画期間

3ヵ年(2020年度～2022年度)

3. ビジョン

第14次中期経営計画では、長期的な視点で地域の成長にコミットする「10年ビジョン」と、10年ビジョンの実現に向けて、従来のビジネスモデルからの変革を目指す「第14次中期経営計画ビジョン(3年ビジョン)」を策定

「10年ビジョン」

地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ

「第14次中期経営計画ビジョン(3年ビジョン)」

地域のお客さまの夢の実現に寄り添う、課題解決型企業グループへの変革

<計画のねらい>

人口減少、高齢化の進展に伴う社会構造の変化や金融緩和の長期化、さらには Fintech の台頭など、銀行を取り巻く環境は大きく変化しています。こうしたなか、地域金融機関は金融を通して地域のニーズに寄り添うことで、「地域から必要とされる存在であり続けること」が重要であると考えています。

その実現に向け、「地域とともに夢と豊かさを広げます」というグループの基本理念と「誰一人とりのこさない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」という SDGs の理念のもと、地域社会の未来を中長期的に創造し、地域とともに持続的な成長を遂げるためのビジネスモデルを構築します。(10年ビジョン)

そして、10年ビジョンの実現に向け、第14次中期経営計画期間の3年間で、静岡銀行グループの役職員一人ひとりが、プロフェッショナルとしてのスキルを磨き、その能力を如何なく発揮できる環境を整備することで、地域のお客さまのあらゆる課題を解決し、お客さまの夢の実現に貢献できる存在(=課題解決型企業グループ)を目指します。(3年ビジョン)

4. 基本戦略

「10年戦略」

- ・ 地域社会の課題解決に貢献する「地域プロデュース戦略」

経営基盤である地域において、地方公共団体とも連携し、企業の活力向上や技術革新、産業誘致等を通じて経済成長や魅力向上を後押しすることで、地域の未来をプロデュースします。

「3年戦略」

- ・ グループ営業戦略 ～「銀行中心」からの脱却

これまでの銀行を中心とした営業体制から脱却し、グループ各社の機能を最大限に発揮し、グループが一体となって、お客さまに多様なソリューションを提供できる体制への変革を目指します。

- ・ イノベーション戦略 ～新たな収益機会の追求

デジタル技術を活用した業務 BPR や非対面チャネルの刷新によるデジタルトランスフォーメーションの実現や、異業種との連携によるサービスの拡充等を通じて、新たなグループ収益機会を追求します。

- ・ ビジネスポートフォリオ戦略 ～経営資源の最適配賦

上記の基本戦略の実現を支えるため、課題解決能力の高いプロフェッショナル人材の育成や、グループ間の交流を含めた人材ポートフォリオの再構築を進めます。加えて、各種規制を遵守しつつ、将来のグループ収益を支える新たな取引・資産を積み上げます。

5. 目標とする経営指標（2022年度目標）

＜収益性指標＞	
連結経常利益	800億円以上
連結ROE	5%以上
＜健全性指標＞	
連結普通株式等 Tier I 比率	14%以上
＜その他指標＞	
連結OHR	55%程度
＜投資家向け指標＞	
株主還元率	中長期的に50%以上

以上